

雄勝小6年生が考案 新メニュー食べてみて

道の駅おがちなど きょうから計4品



小町園で「雄にぎり3きょうだい」を試食する児童＝昨年12月（雄勝小提供）

湯沢市雄勝地域の2施設できょう1日、地元・雄勝小学校（土田裕志校長）の6年生が考案したメニュー計4品がお目見えする。児童からは「自分たちが考えたメニューを多くの人に試してほしい。地元の人はもちろん、観光客にも食べてもらいたい」といった声が上がっている。

新メニューの登場は、6年生25人が取り組んだ「総合的な学習」がきっかけ。地域に貢献する心を醸成しようと「地域のために 雄勝っ子プロジェクト」の名称で地域の飲食や観光、小売りの計4事業者から新商品開発、誘客促進といった課題を聞き取り、昨年12月5日に解決策を披露した。

2施設のうち1983年創業の「小町園」では、ラーメンの具材を活用するなどした「雄にぎり3きょうだい」を500円で販売する。

ラーメン用にしょうゆベースで味付けしたチャーシューの細切れを具にたおにぎりと、みそラーメンのスープ用のみそだれとご飯をまぜ込んで握りあぶった焼きおにぎり、開店以来人気の唐揚げ2個と漬物がセットになっている。持ち帰りのみの販売で、予約が必要。昨年12月22日には児童を招いた試食会を開き、好評を博した。

道の駅おがちでは、レストランニッ森で同市産のハクサイやピーマンのほか、交流のある青森県平内町産のベビーホタテを使った中華丼、しょうがだれで炒めて味付けした牛バラ肉をうどんに盛り付けた「焼肉udon!!」を4月中旬まで提供する。

中華丼は中華スープと自家製漬物が、うどんにはトッピング用の生卵が付く。いずれも食べ応え、満足感につながるようボリュームを意識している。ともに800円。

道の駅内のカフェボスコではカフェオレのジェラートをレギュラー商品に加える。コーヒーの風味を損なわず、幅広い世代に味わってもらえるよう苦みを抑えた。容器に「雄勝っ子プロジェクト」のロゴをあしらっている。シングル350円、ダブル400円。

小町園の木村妙子社長(79)は「地域の子どもちには幼い頃から家族と利用してもらっている。アイデアに感謝し報いるためメニュー化を決めた」と話す。「子どもたちの発想が詰まった味を多くの人に試してほしい」と呼びかける。

道の駅の佐藤光一駅長(69)は「アイデアを企画だけにとどまらずに形にしたかった。地元の子どもたちが考えた新商品を広く食べてもらいたい」と感謝する。

児童のうち、雄にぎり3きょうだいを考案した菅主樹君は「提案したメニューが商品になりうれしい。おにぎりと唐揚げが合っただけおいしい」。ジェラートを考えた西野咲信さんは「実際に採用されると聞いて驚いた。さらにお客さんが来るようアイデアを考えたい」と話している。(小林智彦)

(令和6年2月1日(木) 秋田魁新聞より一部抜粋)



ジェラートの容器には雄勝小の校章と「雄勝っ子プロジェクト」の文字が入る

中華丼と焼肉udon!!はボリューム感を意識した

小町園の雄にぎり3きょうだいは持ち帰りで販売される